



商圈人口140万人 九州第2の都市 北九州市に出店しませんか？

**Kitakyushu
Action!**
動かせ、未来。北九州市

商店街テナントリーシング実行委員会
魚町商店街振興組合／北九州市産業経済局 サービス産業政策課



商圏人口140万人 九州第2の都市 北九州市に出店しませんか？

北九州市長

武内 和久



北九州市は、1901年、官営八幡製鐵所の操業以来、「ものづくりのまち」として発展し、日本の高度経済成長を支えてきました。

また、大都市でありながら、長く美しい海岸線や緑豊かな山々など、豊かな自然に囲まれ「遊ぶ」「観る」「食べる」がぎっしり詰まっています。さらには、空港、新幹線、モノレールなどの交通インフラが揃い、通勤・通学、買い物など、どこへ行くにも便利な公共交通機関が充実したコンパクトなまちです。

このたびの事業の対象となる小倉都心部は、北九州市の中心市街地であり、近隣市町村や広域からの集客も含め、有効商圏人口が140万人を超える地域です。買い物客が多く行き交う商店街の周辺には大型商業施設も立ち並び、活気にあふれています。

このように、北九州市には、充実した都市インフラ、都会と自然と食の調和したまちの魅力、広域からの集客、そして、熱い人情とまちへの愛着を持つ市民の皆さまといった、数えきれないほどの魅力があります。

市全体が一丸となって、これらの力を有機的につなげ、さらなる成長と「稼げるまち」の実現を目指しています。

ぜひ、北九州市に出店していただき、この魅力を体感してください。

皆さまの新たなビジネス展開を全力で応援させていただきます。

商店街テナントリーシング実行委員会委員長
魚町商店街振興組合 理事長

梯 輝元



九州小倉は、古来より長崎街道をはじめとする五街道の起点であり、その中心市街地の魚町商店街は、江戸時代の魚河岸を起源に持ち、1956年に日本で初めて公道上にアーケードを建設した先進的な商店街です。公募したアーケードの愛称は、4000通以上の応募の中から「魚町銀天街」と名付けられ、全国に広まる〇〇銀天街の発祥の地となりました。JR鹿児島本線、日豊本線、西日本・九州新幹線小倉駅の直下にあり、北九州モノレール沿いの約400m、150店舗の広域型商店街です。アミュプラザ小倉、セントシティ、井筒屋、リバーウォーク北九州などと小倉中央商業連合会を形成して、全国でも珍しく大型店と商店街で共同の販促事業、イベント、プレミアム商品券の販売などを行っています。

魚町商店街のメインテーマは「NEW U」の掛け声のもと「先進的な取組みで来街者の利便性・満足度を増し、エリア価値を高める」というものです。単なる品揃えや顧客対応、老舗であることの優位性などを追及するだけでなく、全国初のリノベーションまちづくりやSDGs商店街、電子マネーの普及、消費免税カウンターの導入、魚町Paychaの取組みなど先進的な取組みを続けてきました。その結果、街内歩行者通行量も次第に増えつつあります。

コンパクトシティや都心回帰の流れを受けて、魚町商店街内外に再開発やマンション建築の動きが多数見られます。魚町商店街は、リノベーションまちづくりやSDGs商店街で数々の全国的な賞を受け、自治体、商工会議所、修学旅行生の視察が後を絶ちません。また、先進的な取組みに熱心だということが全国的に知られているため、電子マネーや免税カウンタなどの実験的な取組みは、まず魚町商店街からスタートしようと各企業からの売り込みも多数あります。

北九州市内及び近隣市町村では、魚町商店街に行くことを「まちに行く」と称しています。南にある「北九州の台所」とも呼ばれる旦過市場とともに北九州市のみならず福岡県全体でトップの商店街エリアとして知られています。北九州市立大学をはじめとする北九州市の5大学と連携して「We love小倉協議会」というまちづくり団体を形成して。まちゼミ、清掃活動、コンシェルジュ活動などを行い、広く市民から愛されます。その証拠として、2年続けておこった旦過市場、魚町商店街の火災では、その復興支援募金がそれぞれ6000万円規模で集められ、ガレキ撤去費用は民間支援のみで賄われました。

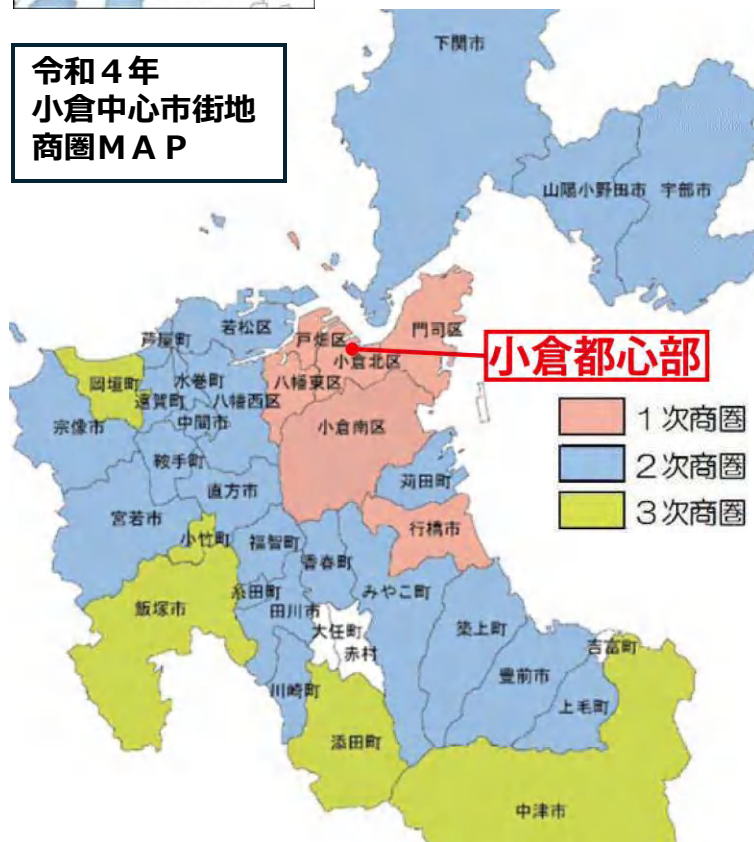
シャッター商店街と呼ばれる衰退した商店街が全国的に多い中、若者のつどう街、活気あふれる魚町商店街に出店してみませんか。皆様の出店、仲間入りを心からお待ちしています。

商圈人口約140万人の広域マーケットを擁する北九州市



北九州市は、関門海峡に面し、九州最北端に位置する。福岡市と共に西日本を代表する政令指定都市の一つ。人口約90万人。

令和4年
小倉中心市街地
商圈MAP



北九州市商圈(40km圏内)は商圈人口約140万人

- 1次商圈：門司区・小倉北区・小倉南区・八幡東区・戸畑区・行橋市
- 2次商圈：若松区・八幡西区・中間市・宗像市・芦屋町・水巻町・遠賀町・直方市・宮若市・鞍手町・糸田町・福智町・田川市・香春町・川崎町・豊前市・苅田町・みやこ町・築上町・上毛町・下関市・宇部市・山陽小野田市
- 3次商圈：岡垣町・飯塚市・小竹町・添田町・中津市

- 1次商圈 買物出向率70%以上の市区町村
 - 2次商圈 買物出向率50%以上70%未満の市区町村
 - 3次商圈 買物出向率30%以上50%未満の市区町村
- ※買物出向率とは年1回以上の頻度で対象地域に買物に出向く比率

(出典：令和4年度 北九州市商圈調査報告書)

小倉の商業施設の中心・ハブとして機能する魚町銀天街

リバーウォーク北九州



丸善 2024年10月OPEN
売場面積1,090㎡

アミュプラザ小倉



駅直結のホテルと商業施設
一体の複合施設

小倉井筒屋



地元資本、市内唯一の百貨店
ルイ・ヴィトン、グッチなどの
ハイブランドをはじめ多数
のブランドショップを展開

セントシティ北九州



GU 2024年9月OPEN
売場面積760㎡

オフィスフロアにGMOなど
IT関連が多数入居

商店街の南北の軸に沿うように、地元資本の百貨店「井筒屋小倉本店」、小倉城近くには「リバーウォーク北九州」、小倉駅付近には地元大手企業が出資する複合ビル「セントシティ北九州」、JR九州による駅・ホテル・専門店が一体となった「アミュプラザ小倉」、少し離れたバスターミナル前に西日本鉄道による「チャチャタウン小倉」などの大型商業施設が点在しています。

魚町銀天街は、これらの大型商業施設を結ぶ回廊のような役割を果たしています。また、魚町銀天街を中心に東西にいくつもの商店街が形成されており、これらの商店街には、大手チェーン店などに混じって、地元で長年愛される高級な寿司店や、行列のできるパン店、ご当地グルメを味わえる店、遠方からもわざわざ足を運ぶ専門店や若者に人気のセレクトショップなど個性的な店舗が多く見られます。



商店街としての取り組みが高く評価されています

魚町銀天街は小倉駅を北の起点として、南は北九州市民の台所として有名な旦過市場まで南北に約400mにわたって続く大きな商店街です。また、日本で初めて公道上にアーケードが架けられた商店街としても有名です。

また、2018年に北九州市が経済協力開発機構（OECD）よりアジア初の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に認定されたことをきっかけに「SDGs商店街」を目指す取り組みを進めており、ジャパンSDGsアワードの内閣総理大臣賞をはじめSDGsの分野で受賞や取材を多く受けており、今では各地の商店街から多くの視察を受け入れています。

SDGsの代表的な取り組みとしては使われていない物件を行政と民間のまちづくり事業者や不動産オーナー等とが連携しリノベーションの手法を用いて再生し、エリア価値の向上などを図る「リノベーションまちづくり」を2010年から全国に先駆けて街全体で取り組み“リノベーションまちづくり発祥の地”とも呼ばれています。

他にもお店の人が講師となって、専門知識やプロのコツを無料で教えてもらえる講座「街ゼミ」や「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに定期的に清掃活動を行うgreen bird北九州、早朝や午前中の時間を活用して専門的な学びを届ける「朝ゼミ」など持続可能なまちづくりを目指して、商店街が力を合わせ、さまざまな活動を行っています。



働く、暮らす商店街へ

魚町銀天街すぐそばに2024年6月に竣工した13階建てのオフィスビル「**BIZIA KOKURA**」は、北九州市のSDGs未来都市の実現に向けた新しい取組み「コクラ・クロサキリビテーション」の第一弾プロジェクトとして、日本IBMをはじめ、IT企業等が入居し、注目を集めています。

魚町を含めた中心市街地には、これまで有効に活用されてこなかった容積を建て替えによって分譲・賃貸の集合住宅が次々と建設され高層化が進み、居住人口も増加しています。

これまで商業地として発展してきた魚町エリアが働く場所、暮らす場所へと変化を遂げることで「日常使い」のニーズも高まっています。

BIZIA KOKURAはコクラリビテーションのリーディングプロジェクトです。

SDGs未来都市の実現につながるまちづくりを目指す取組

- ・快適性、省エネ、企業価値の向上に寄与する「グリーンスマートビル」の普及
- ・安全安心で魅力ある市街地環境の形成
- ・若者に好まれるIT企業の誘致



賃貸マンションの1～3階部分に2022年6月にオープンした「**ドン・キホーテ小倉魚町店**」。駐車場併設のロードサイド店とは異なり、アーケード商店街に立地した地域密着の店舗として独自の商品展開を図り、賑わいを見せています。売場面積：923.3㎡

魚町エリアの南側に隣接する総合病院「**北九州市立医療センター**」は病床数636床、41の診療科を有し、外来患者は1日1,100人にもものぼっており、モノレール駅とも直結。医療関係者を含め日々多くの往来があり、エリアの賑わいの一要素となっています。

